

人を健康にする住空間

……住空間が健康のためにできること

少子高齢化時代の到来により社会の活力低下が懸念されるなど、国民の健康維持増進が求められ、住宅においてもキーワードとしての「健康」が重要性を増している。では、健康な暮らしをプロモートする住まいとはどのようなものなのか——— これを探る目的で、新しい視点から「健康維持増進」の在り方を指し示すコンペティションを実施する。

昨年度行われた第1回では、住宅単体に限定せず、ライフスタイルやコミュニティなども含む幅広い視点から提案を募った。今年度は、より具体的に、住まいに関わる健康の在り方を、住空間や建材・設備などと重ね合わせて提案を求めるものである。

応募要項

【募集するテーマ】

適度な身体活動(運動)、快適な睡眠、楽しい食事を実現する「健康な住まい」

- ・ 必ず計画案における対象者の年齢、身体活動や睡眠、食事に関わる空間計画や要素技術を具体的に明記してください。
- ・ 敷地周辺の環境や気候・地域のあり方を記載してください。
- ・ 具体的な敷地条件、家族構成、住宅の規模、また戸建て住宅、集合住宅の別は問いません。

【応募方法】

■参加登録

事前に参加登録を「応募フォーム」(http://www.ibec.or.jp/consortium/kenko_compe.html)にて行ってください。受付後に、メールにて受付番号をお送りします。

平成21年12月1日(火)から参加登録の受付を開始します。

◎ 参加登録締切 平成22年2月26日(金)

■作品の提出

◎ A1(841×594mm)用紙1枚に、裏面に受付番号を記入して提出してください。

レイアウト、図面表現等は自由です。

◎ 送付先

財団法人 建築環境・省エネルギー機構 住宅研究部 設計コンペ担当

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-1 全共連ビル麹町館 TEL 03-3222-6690

※ お一人あたりの応募点数に制限はありません。

※ 必ず指定された用紙サイズを守ってください。

※ 応募資料は返却しません。

◎ 提出締切 平成22年3月12日(金) 必着

※ 直接持参される場合は、営業時間内(平日 9:30~17:30)にお願いします。

【応募資格】

建築・住宅に関わる実務者、研究者および学生の方など

【表彰】

● 最優秀賞 1点 賞金50万円

● 優秀賞 2点 賞金10万円 ほか佳作数点

入選作品は機関誌 IBEC、建築専門紙(誌)等に掲載、発表します。

【審査委員】

◎審査委員長 吉野 博(健康維持増進住宅研究委員会 健康影響低減部会長
東北大学大学院教授)

◎副審査委員長 小泉雅生(同委員会 設計部会長/建築家/首都大学東京大学院准教授)

◎審査員 田辺新一(同委員会 健康増進部会長/早稲田大学教授)

手塚由比(建築家/手塚建築研究所)

東嶋和子(科学ジャーナリスト)

星 旦二(医師/首都大学東京大学院教授)

(五十音順、敬称略)

【審査】

第一次審査により優秀な作品を10点程度に絞ったうえで、公開審査会を行います。

一次審査通過者には3月20日までに連絡します。(落選した方への通知はいたしません)

公開審査会および表彰式の開催日と会場は次の通りです。

日時:平成22年3月29日(月)13:30~16:30

会場:建築会館ホール 東京都港区芝5丁目 26 番 20 号

【お問い合わせ先】

健康維持増進住宅研究コンソーシアム事務局

(財団法人 建築環境・省エネルギー機構 住宅研究部 設計コンペ担当)

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-5-1

TEL 03-3222-6690 FAX 03-3222-6100

<http://www.ibec.or.jp>

■主催 一般社団法人 日本サステナブル・ビルディング・コンソーシアム
健康維持増進住宅研究コンソーシアム

■協力 日経アーキテクチュア、日経ホームビルダー、ケンプラッツ

以上